

加盟店専用サイトのログイン画面に  
『買取情報』のバナー広告を掲載できます！

バナーを表示して  
貴店の不動産買取事業を  
アピールしませんか？

バナー広告作成も承ります！

at home お問合せセンター  
Tel.050-5538-0939

アットホーム株式会社 越谷営業所  
〒343-0845 埼玉県越谷市南越谷1-16-13 日本生命越谷ビル2F

人と住まいを、  
笑顔でつなぐ。

公益社団法人 全国宅地建物取引業協会連合会 賛助会員  
一般社団法人 全国賃貸不動産管理業協会 賛助会員

賃貸物件の火災保険のことならおまかせください！  
**宅建ファミリー共済**

お問い合わせ・  
詳しい資料の  
ご請求は <https://www.takken-fk.co.jp>  
03-3234-1151 (平日9時~17時受付)

株式会社宅建ファミリー共済 東京都千代田区九段北3-2-11 住友不動産九段北ビル7F

創業天保八年  
御菓子司しみずや

お得意様、オーナー様  
への手土産に。

200年の歴史を紡ぐ、老舗  
しみずやの和菓子をご進物  
にお使いください。

WAGASHI SHIMIZUYA

GOOD LIFE ADVISER  
ユ-コ-

お任せください  
ガス、水道、電気工事  
リフォーム全般  
不動産

祐工商事株式会社 草加市弁天5-34-9  
☎ 048-931-7654

soramado saitama

青空と暮らすデザイン住宅「ソラマドの家」。  
暮らしの快適さや楽しさはもちろん、  
家事ラク・子育てラクも叶える自由設計の住まい

ライフデザイン株式会社  
〒340-0016 埼玉県草加市中央2-1-4  
電話/FAX 048(928)7072 / 048(928)8711

オガワホームHD株式会社グループ  
**WeBuild**  
WeBuild株式会社

セフティ足場は WeBuild に社名を変更いたしました  
〒343-0823  
埼玉県越谷市相模町 5-363-11  
tel.048-989-3031

最速で親方になって  
秒速で稼げる！  
足場職人・親方  
募集中！

住まいはもっと 楽しくなる

内装・外装 リフォーム・リノベーション  
ドローン 太陽光パネル・オール電化

Suntop co.,Ltd.  
株式会社サントップ  
知事免許(般-4)第61861 ☎048-915-0709

会員様限定! 20%OFF

美品中古  
即日納品  
使用可能!

**パソコン  
大特価販売**

Windows 11  
ハイスペック・中古でも安心の購入後半年保証付! 25,000円~

COMPANY TEL 048-924-9696

アパート・マンション・一戸建ての  
**原状回復やリフォーム工事なら**

お見積り無料 お気軽にご連絡ください

支部業者様優遇あり

048-916-6058 埼玉県八潮市八条 1604-13  
ヒイラギ建築

人と街、未来を作るということ  
一般土木工事/産業廃棄物収集・処理/建築機械修理販売リース

株式会社 埼玉車輛 埼玉県草加市長栄1丁目630番地 1  
TEL : 048-941-3426

News Letter   
**KAGAYAKI**

公共下水道事業の現状と課題について  
埼玉東支部役員 地区・委員会報告  
“仲間づくり”と“学び”をここから!  
宅建業者法定研修会開催のご案内  
会員親睦旅行(大阪)のご案内  
居住支援法人believeのご紹介  
事務局からのご案内

**広告掲載希望者募集**

毎年2回(3月・9月予定)発行される、埼玉東支部広報誌への  
広告掲載希望者を募集します。支部会員へ直送便での配布や  
県内各支部・地域の関係諸団体へ配布します。

【掲載費用】 ¥10,000/1回 【発行部数】 600部~700部  
※掲載には一定の条件があります。ご確認ください。

広告スペース  
(実寸大)  
縦 40mm × 横 90mm

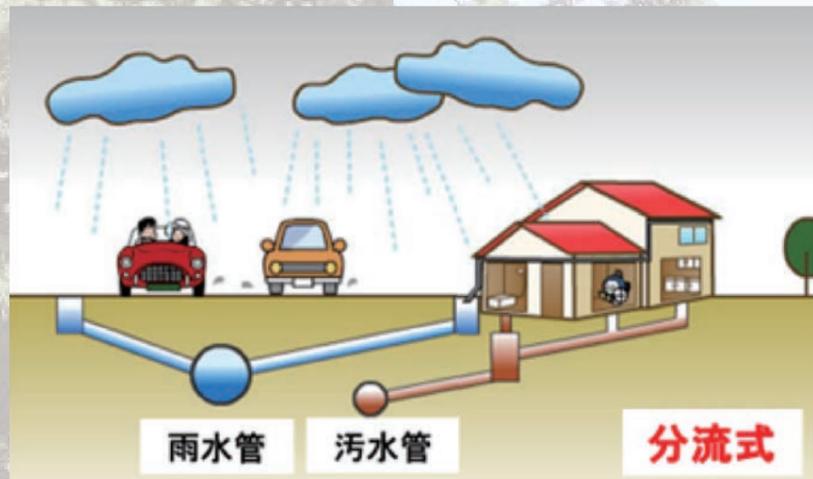
# 公共下水道事業の現状と課題について



## 草加市の公共下水道事業の現状と課題

草加市では、昭和30年代以降の急激な都市化に伴い、綾瀬川や伝右川などの中小河川に工場排水や生活排水が流入し、水質汚濁や自然環境の悪化が深刻化しました。これを受け、昭和47年10月の埼玉県の中川流域下水道計画に併せ、分流式の流域関連公共下水道として、事業に着手しました。

公共下水道事業には汚水事業、雨水事業がありますが、今回は草加市の汚水事業（分流式）に関する現状と課題を説明します。



昭和45年頃の綾瀬川

下水道事業の概要と普及状況一覧  
(令和6年3月31日現在)

項目	
排除方式	分流式
行政面積	2746.0 ha
処理面積	2710.0 ha
整備面積	2449.0 ha
整備率	90.37 %
総人口	251,521 人
処理区域内人口	246,742 人
水洗化人口	234,636 人
普及率	98.10 %
水洗化率	95.09 %



草加市のデザインマンホール

### 下水道事業の現状

草加市の公共下水道は、独自の汚水処理場を持っていません。そのため、本市が整備する公共下水道を、埼玉県が整備・管理する、流域下水道に接続することで汚水処理を行っています。

令和6年3月末現在、基本計画面積2,710.0haのうち2,449.0haの整備が完了しており、整備率は90.37%に達しています。また、人口普及率は98.10%、水洗化率は95.09%と高い水準を維持しています。

市内には延長約667kmの下水道管が埋設されており、直径65mmから1,500mmとさまざまです。これらを一直線につなげると、東京から広島あたりまで届く距離となります。また、約26,000基のマンホールがあり、自然流下を基本とする汚水の流れを支えています。草加市のような平坦地では下流に向かうにつれて管が深くなるため、途中でマンホールポンプによって汚水を汲み上げる必要があります。現在、市内には48か所のマンホールポンプが設置してあります。

近年、重点的に事業を進めている区域としては、東武スカイツリーライン新田駅の東西口周辺を対象とした、本市の区画整理事業に合わせて施設の整備を行っています。

### 下水道事業の今後の課題

今後、草加市の下水道事業で特に重要なのが、施設の老朽化対策です。市内の下水道管の多くは高度経済成長期に整備されたもので、今後10年から20年の間に耐用年数を超える施設が急増すると見込まれています。

老朽化が進んだままでは、管の破損や道路の陥没、悪臭の発生など、市民生活に影響を与える事故が起きかねません。こうした事態を防ぐため、草加市では「ストックマネジメント計画」に基づき、管の点検・調査を進め、状態に応じて計画的な改築・更新を行っています。中でも、リスクの高い箇所から優先的に対応を進め、事故の未然防止に努めています。

また、人口減少や水使用量の変化を見据え、コスト効率の良い修繕方法（更生工法など）を積極的に活用し、効率的な維持管理を図っていくことが必要とされています。

次に、技術職員の確保と体制の強化も大きな課題です。

下水道施設の維持・更新には専門的な知識や経験が不可欠ですが、職員数の減少や高齢化などから、技術の継承が年々難しくなっています。今後は、計画的な人材育成を継続しながら、持続可能な運営体制を構築する必要があります。

さらに、地震や集中豪雨といった自然災害への備えも必要です。特に草加市のような平坦地では、マンホールポンプなど電力に依存する施設が多く、停電時の排水機能の確保が課題となります。近年発生した令和6年能登半島地震においても、下水道施設の被災や長期復旧が社会問題となっており、草加市でも教訓を活かし、耐震化の推進等災害に強いインフラづくりを進めています。

このように、下水道事業には老朽化対策、人材確保、災害対策など多くの課題があります。今後も、これらの課題に的確に対応しながら、計画的かつ効率的な事業運営を進め、市民の皆様 safely and comfortably living lives.

## 八潮市の公共下水道事業の現状と課題

本市の公共下水道事業の全体計画区域は、市域1,802.0haのうち河川区域などの非可住区域を除いた1,626.0haが位置付けられており、うち1,238.7haの事業計画区域内で整備を進めています。

令和6年3月31日現在の汚水の整備率は72.1%、下水道処理人口普及率は81.1%、水洗化率は91.4%、また、雨水の整備率は、事業計画区域の面積828.3haに対して587.0haの整備を終え70.9%となっています。

なお、本市の公共下水道は、埼玉県の管理する中川流域下水道の関連公共下水道であり、汚水は三郷市に位置する中川水循環センターで処理され中川へ放流しています。



八潮市のデザインマンホール

### 下水道事業の現状

汚水整備の状況としては、昭和49年から整備が進められ、過去15年間で整備。面積は約265ha、処理人口は約21,600人、水洗化人口は約21,100人、有収水量は約3,333,000m<sup>3</sup>増加しており、現在では令和2年度に事業計画区域を拡大した未普及区域の新設整備を重点的に行っています。

雨水整備の状況としては、本市は、東に中川、西に綾瀬川、南に綾瀬川、堀川、大場川といった河川に囲まれていることに加え、市域全体が低地であること、急速な土地利用の変化に伴う浸透域の減少により浸水被害を受けやすい状況となっています。

このため昭和56年から雨水整備に着手し、浸水被害の軽減のため南後谷排水区、西袋排水区、鳥内排水区、古新田排水区において、雨水排水ポンプ場の建設を行ってきました。現在は、古新田排水区の新田ポンプ場増築の整備を行っています。

下水道施設の改修では、過去に発生した阪神淡路大震災、東日本大震災等、近年においては、能登半島地震の震災による各地の被害から、下水道システムの重要性が再確認されています。本市の下水道施設の耐震化率は、令和6年3月末で汚水管渠が61.0%となっており、既存のポンプ場については、耐震診断を行い未耐震の管渠施設と合わせて耐震化工事を進めているところでもあります。

また、昭和50年代以降に整備された下水道施設の老朽化が進むため、ストックマネジメント計画に基づいて、施設の点検や調査を通じて状態を把握し、計画的に維持・改築が必要となり、耐震化対策についても、地震による管渠の破損や道路陥没による二次被害を防ぐため、特に重要な路線において対策を進めています。また、雨水整備では、市内に降った大雨の排除のため、中川新堤防築堤に伴う新ポンプ場の整備や大雨などによる排水機能の停止を防ぐため、既存ポンプ場の対策も重要となることから耐水化計画を策定しているところでもあります。

経営の健全性・効率性については、下水道事業の経常収支比率が100%を超えている一方で、経費回収率は100%を下回り、76.6%で類似団体の平均よりも低くなっています。このため、使用料の見直しを令和6年7月1日に行った状況にあります。

項目		目
建設事業開始年月日		昭和49年12月4日
供用開始年月日		昭和58年4月1日
特別会計設置年月日		昭和49年6月24日
企業会計設置年月日		令和2年4月1日
排除方式		分流式
面積	行政区域	1,802.0 ha
	全体計画区域	1,626.0 ha
	事業計画区域 A	1,238.7 ha
	整備済区域 B	893.0 ha
	整備率 B/A	72.1 %
雨水	全体計画区域	1,626.0 ha
	事業計画区域 C	828.3 ha
	整備済区域 D	587.0 ha
	整備率 D/C	70.9 %
人口	行政人口 E	93,089 人
	処理区域内人口 F	75,469 人
	水洗化人口 G	68,973 人
普及率 F/E		81.1 %
水洗化率 G/F		91.4 %

## 下水道事業の課題

下水道事業の課題として、人口減少への対応について、現在は増加傾向にあるものの、将来的には減少が見込まれることから、下水道事業の主たる収入源である下水道使用料の減少に直結し、経営に影響を与えるため、使用料水準を適正化し経営の安定化に努める必要があります。

また、下水道汚水の未普及区域の解消を目指した新設整備が

進行中であり、下水道施設の老朽化・耐震化等の対策に加え、浸水対策としての中川新堤防築堤に伴う新ポンプ場の整備等、今後においても多額の建設コストを要すことから、国庫補助金等を活用するとともに各種計画に基づく事業執行により、事業の平準化を図り、限られた財源の中で効果的な整備を実施する必要があります。



古新田ポンプ場増築完成予想図

## 下水道事業のこれから

公共下水道（汚水・雨水）の整備を行うとともに、災害時においても施設の機能を十分に発揮させるため、ストックマネジメント計画に基づき点検・調査、修繕・改築等を実施し、施設管理の最適化を目指してまいります。

また、下水道事業については、市民の方や受益者のご理解とご協力を得ることが不可欠となるため、下水道の役割【浸水防除・公衆衛生の向上・公共用水域の水質保全】や仕組みについての啓発活動・広報活動をさせていただきながら、安定した下水道経営を実現するため、下水道施設の効率的な利用や水洗化を促進し、事業を推進してまいります。

# 三郷市の公共下水道事業の現状と課題

本市の公共下水道事業の全体計画区域は、市域1,802.0haのうち河川区域などの非可住区域を除いた1,626.0haが位置付けられており、うち1,238.7haの事業計画区域内で整備を進めています。

令和6年3月31日現在の汚水の整備率は72.1%、下水道処理人口普及率は81.1%、水洗化率は91.4%、また、雨水

の整備率は、事業計画区域の面積828.3haに対して587.0haの整備を終え70.9%となっています。

なお、本市の公共下水道は、埼玉県管理の中川流域下水道の関連公共下水道であり、汚水は三郷市に位置する中川水循環センターで処理され中川へ放流しています。

## 下水道事業の現状

三郷市の下水道汚水管は、昭和50年に事業着手し、令和6年度末には、管渠延長が約442kmに達し、市街化区域のうち93.7%が整備済みとなっています。

整備済み区域のうち下水道に接続した人口を表す水洗化率は90.4%となっており、継続的に、未普及地域の整備を行うとともに、水洗化率向上のため積極的な普及促進活動の取り組みをしております。

これまで、今年9月に開催される東京2025世界陸上で、事前キャンプの受け入れを行う、ギリシャ共和国をモチーフとしたデザインマンホール蓋の作成や、市の広報拠点である、ららぽーと新三郷の「ららぽーとみさと」における下水道事業に関するパネル展示や、マンホールカードの配布など行ってまいりました。



マンホールカード



三郷市のデザインマンホール

また、中央二丁目八丁堀公園の地下にある治水施設である「新和調整池（みさと地下神殿）」は大雨の際に市街地に降った雨を一時的に貯める役割を持った施設です。地下には空間を支えるための柱が70本あり、さながらギリシャ共和国にあるパルテノン神殿のようです。新和調整池のオリジナルグッズを配布し、市の治水施設を積極的にPRしています。



みさと地下神殿缶バッジ



新和調整池（みさと地下神殿）

## 下水道事業の課題

本市の下水道は、事業着手から50年を迎え、今後は耐用年数である50年を超える施設が増加していく見込みとなっております。現在、下水道管の破損に起因する道路陥没が目立っておりますが、市内でも、過去には小規模な陥没や木の根による下水道管の詰まり、雨水や地下水の汚水管への侵入による不明水の増加など下水道管の老朽化による影響が始まっています。

そこで、令和4年には、ストックマネジメント計画を策定し、計画的な点検、調査を行うとともに、優先順位を設

定し、管渠および中継ポンプ場の修繕・改築を行っており、効率的、効果的な予防保全、事故等の未然防止に努めております。

また、令和6年1月の能登半島地震を受け、令和7年1月には、上下水道耐震化計画を策定しました。下水道事業着手時に整備された管渠など、耐震化が未確認の箇所が多くあります。今後は、重要施設に接続する管路から、耐震診断を行い耐震化への取り組みを行ってまいります。

## 林編集長のまとめ



今回は、本年1月に起こった八潮市道路陥没事故の原因と推測されている老朽化した『下水道』に関して、草加市・三郷市・八潮市の各市の公共下水道事業の現状と課題について取材させて頂きました。

その結果として、3市共通の現状と課題をまとめさせて頂きました。

会員の皆様には是非ご一読頂きまして、地域の公共下水道事業の現状と課題を再認識して頂き、今後のお仕事と更なる地域貢献活動にも活かせてもらえれば幸いです。

## 草加市・八潮市・三郷市の共通する現状

項目	内容
下水道普及率	おおむね 90%以上(地域差あり)
管理方式	公営企業会計方式(草加市と三郷市)、または特別会計(八潮市)
施設の老朽化	昭和40年代～50年代に整備した施設の老朽化が進行中
合流式/分流式	古い地域は合流式が一部残存、新規区域は分流式で整備
経費回収	使用料収入だけでは維持費を賄えない傾向あり

## 草加市・八潮市・三郷市の共通する課題

分類	課題内容
インフラ老朽化	管路やポンプ場の更新時期到来。財源が課題。
自然災害対策	内水氾濫、地震によるライフライン寸断のリスク。
人口動態	少子高齢化による使用料減、維持管理人材の確保難。
収支改善	公営企業としての健全経営が求められるが、使用料値上げへの市民理解が難しい。
環境対応	雨水処理や下水再利用など、新たな技術導入の必要性。

# 埼玉東支部役員 地区・委員会報告

## 支部長 | 木村 忠義



会員の皆様には、日頃より埼玉県宅地建物取引業協会ならびに埼玉東支部の運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。支部運営は、執行部や各委員の皆様のご尽力により順調に進んでおり、今後も「会員一人ひとり」のため、英知と情熱をもって活動してまいります。

現在、業界は電子契約・IT重説・不動産DXの進展や、顧客ニーズの多様化、大手業者の台頭などで大きく変わっています。こうした背景から、宅建会員数も減少傾向にあり、協会も変革の時を迎えています。会員や消費者にとって魅力的な業界・組織であり続けるため、今こそ対策を講じ、改革を進める必要があります。

当協会は「会員の資質向上」「地域社会への貢献」「消費者保護」を理念に、地域に根ざした活動や空き家対策などの公益事業に取り組んでまいりました。今後も「ハトマーク不動産ショップ」として地域で信頼され輝ける存在となれるよう、業務支援や情報発信を強化します。また、WEB研修による人材育成や専門知識の向上、公正・安全な取引の推進など、時代に即した取組みを進め、組織の見直しや財政基盤の強化にも注力してまいります。

協会・支部が一丸となり、透明性のある迅速な運営を心がけ、皆様の信頼に応える組織づくりを目指します。

私は「進化なくして繁栄なし」の信念のもと、特別委員会の設置や財政の一元管理、エリア戦略など、次世代に誇れる協会づくりに邁進いたします。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 専務理事・草加地区長 | 村上 昌巳



草加地区の会員の皆様におかれましては日頃より支部・地区運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先の参議院選挙において与党が大幅に議席を減らしたことは、時代の転換点となる兆しとも言えます。これにより、今後の政局が大きく揺れ動くことは必至であり、日米貿易交渉をはじめとする政府の各種経済政策にも影響が及ぶことが予想されます。その結果、景気の行方にも大きな影響を与えるものと考えられます。

私たち宅建業者にとっても、金利の動向や地価をはじめとする各種経済指標に注視し、適切な景気判断を行うことが重要になってまいります。

いずれにしても、先行きの不透明感は依然として拭えず、厳しい状況がしばらく続くものと感じております。

## 副支部長・八潮地区長 | 宗像 健慈



私は、現在「草加・八潮地区交通安全推進事業所協会」に Outreach しております。

一般的に事業所で車両を5台以上使用している場合は、自動車の安全運転と運行に必要な指導や管理業務を行わせるため、安全運転管理者とそれを補助する副安全運転管理者を選任して、事業所等における安全運転管理の責任の明確化と交通事故防止体制の確立を図ることになりますが、5台未満の事業所は管理者を選定する義務が無いので、安全運転に対する意識が薄くなってしまいがちです。

そのため埼玉県では独自に交通安全推進事業所協会を各署に設けて、5台未満の事業所に対して加入して頂いて、警察と会員事業所とが、共に地域の交通安全活動を展開している団体です。

加入は任意ですが、交通安全活動に功労があった事業所に対しては表彰制度もございます。

埼玉東支部の木村支部長が会長に就任しており、私も副会長に就任しております。

会員の皆さんも興味がありましたら、是非加入して下さい。

## 副支部長・三郷地区長 | 堀切 茂友



日頃より支部運営にご協力賜り、感謝いたしております。

前回に続き三郷市の状況の変化は大きく、三郷料金所フルインター化は3月22日に実施され、主要幹線道路の渋滞の改善、通過時間の短縮につながっているようです。倉庫の需要はますます増加し、それに関連する運送や物販等様々な業種に広がりが出てきています。皆様の活動にも好影響があると期待しています。

前回も申し上げました空き家に関する相談事例もより増加傾向が強まっていて、支部対応件数のみならず成約件数も増加しております。まだ対応経験のない方々にも願っている場面があると感じていますので、その折には業務に生かしていただけたいと思います。

結びに皆様の事業により役立つ施策や情報提供に努めてまいりますので、支部活動へのより一層のご参加、関心を寄せていただければと思います。



総務財務・広報委員長

## 小川 勝

平素より、支部運営に多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。2025年度、総務財務兼広報啓発委員会の委員長を務めております。小川でございます。

当委員会では現在、小島副委員長を中心に、会費の徴収や月次の会計処理などの財務業務を、五十嵐副委員長を中心に、支部規約に関する業務や新規会員の入会面談を、そして林副委員長を中心に、広報誌の発行をはじめとする広報活動を、それぞれ担当委員とともに分担しながら取り組んでおります。

まず、支部運営の根幹である会計業務につきましては大きな滞りなく、円滑に遂行することができました。現在、約80%の会員の皆様に口座引き落としの手続きをさせていただいております。埼玉東支部では会費納入について口座振替サービスがご利用いただけます。登録ご希望の方は支部事務局までご連絡ください。

また、新規会員の入会も順調に進み、年度末から9社増加し、現在は三市で計327社の皆様にご加入いただいております。今後も県本部との連携を深め、新規会員のさらなる拡大を図るとともに、既存会員の皆様にもご満足いただけるよう、広報誌やホームページを通じた情報発信の充実にも努めてまいります。

あわせて、広報誌『輝』は、このたび第34号を無事に発行することができました。発行にあたっては、編集スタッフの尽力はもちろんのこと、スポンサー企業の皆様のご支援にも支えられ、継続的に情報を発信し続けることができっております。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

今後とも、埼玉東支部のさらなる発展と活性化を目指し、委員会一同力を合わせて取り組んでまいります。引き続き、会員の皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



情報・政策・業務支援委員長

## 小勝 元貴

日頃より支部運営にご協力賜り、心より感謝いたします。

本年度も10月より、当委員会が担当させていただく多くの事業・催し物が開催されます。

10月19日(日)には今年も「宅地建物取引士資格試験の事務協力」がございます。今年も、越谷支部・埼葛支部・川口支部と協力し、獨協大学にて約1,600人の受験者を担当する事になりました。それに伴い、当支部からも40名の皆様にお手伝いをしていただく事になっております。ご協力いただく皆様には重ねて感謝するとともに、今後の継続した運営にご理解とご協力をよろしくお願いたします。

10月後半には3市への要望陳情活動が控えています。当委員会の政策担当のメンバーが不動産業者としてまちづくりに直結する内容を検討しまとめました。

また、各市の市民祭り(不動産フェア)も控えております。今年は八潮市民祭りは道路陥没事故の影響で開催中止となってしまいましたが、草加ふささら祭りを11月1日(土)に三郷産業フェスタを11月15日・16日(土・日)にて開催します。

今年の会員親睦旅行は、11月11日～1泊2日で大阪に決定させていただきました。大阪を楽しみながら、大阪万博(夢州)跡地の見学を予定しています。総合型リゾートをはじめとした、万博の理念を継承するまちづくりをどのように行うのか、不動産業者の観点としてまちづくりを考えるきっかけになればいいと考えております。

今後とも、支部のより一層の活性化を目指し取り組んでまいり所存です。会員の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援、ご協力をお願いして、委員長からのご挨拶とさせていただきます。

相談・法令遵守委員長

## 池永 幸生



相談・法令遵守委員会では、草加・三郷・八潮の3市において年30回以上不動産無料相談所を開設しています。無料相談員の方には毎年資料による自己学習とWEB研修動画での学習、新人の方は集合研修に参加して知識の向上に努めて頂いております。

今年度の支部主催宅建オープンセミナーは、9月16日に八潮メセナホールにおいて開催致しました。7月1日に施行された特定都市河川浸水被害対策法における貯留浸透施設についてと八潮市道路陥没事故の状況についてのテーマで埼玉県及び3市の担当者をお迎えし開催致しました。

第3部では、講師の谷厚志氏による怒りを笑顔に変えるクレーム対応についてのお話を頂きました。

更に、東部エリアでの宅建オープンセミナーは、来年2月から3月の間に開催予定です。是非、そちらにもご参加下さい。

毎年、各市の市民まつり等に合せて行われる無料相談所を併設した不動産フェアについては、陥没事故の影響でやお市民まつりは中止となりますが、草加ふささら祭り及び三郷市の産業フェスタにおきましては、担当委員の皆様のご協力を今年もお願い致します。

法令遵守委員会では、11月に法令遵守指導員による事務所調査を実施致します。今年の対象者は昨年約2倍となり草加地区56社、三郷地区18社、八潮地区18社の合計92社の予定となります。対面方式での実施となりますので、対象となった会員の皆様には指導員の調査にご理解ご協力をよろしくお願致します。

又、宅建業者法定研修会は、定款施行規則第9条により会員には受講が義務付けられています。受講方法は、集合研修とWeb研修の何れかの受講方式を選択頂くことが可能です。集合研修の会場は、県内4ヶ所で開催されます。越谷サンシティホールは、10月27日に開催します。

以上のとおり、各担当委員の皆様を始め会員の皆様のご支援とご協力を願ひ、委員会の活動報告及び活動計画とさせていただきます。

# 不動産業界の“仲間づくり”と“学び”をここから！

埼玉東支部「青年部・レディス部」新メンバー募集中！

不動産業界で働く中で、**こんなこと感じたことありませんか？**

- 「社外の同世代と話してみたい」
- 「地域の動向を聞いてみたい」
- 「せっかくなら楽しみながら交流したい」



私たちは、50歳以下の若手会員を中心に活動している“業界内コミュニティ”です。埼玉エリアでNo.1の活動をしています。代表者はもちろん、従業員の方もOK！毎月、仕事にも人生にも役立つイベントを企画・運営しながら、自然と「つながり」と「経験値」を増やしていける場として、多くのメンバーが活躍中です。

## 【主な活動内容】

### 知識を深める研修会・セミナー

異業種の専門家を招いた講演会を定期開催。不動産にまつわる法律・税務・相続・コンプライアンスまで、業務に直結するテーマをわかりやすく解説してもらえます。

### 年1回のメンバー旅行

毎年恒例の青年部旅行では、観光やアクティビティを楽しみながら、リラックスした雰囲気でお話。ビジネスの話も人生の話も、自然と本音で話せる関係が築けると好評です！

### ゴルフコンペでリフレッシュ&交流

年2回開催のゴルフコンペは、初心者も大歓迎！仕事をちょっと忘れて、青空の下でスカッと気分転換しながら業界仲間とつながれます。プライベートの延長のような雰囲気が魅力です。

### 懇親会・食事会も定期開催中！

仕事終わりのカジュアルな食事会や、季節イベントと絡めた懇親会も盛んです。ざっくばらんな会話の中から、新しいヒントやアイデアが生まれることも。

## 【入部条件】

- ・埼玉東支部会員の事業所に所属していること
- ・年齢50歳以下であること
- ・代表者だけでなく、従業員の方も大歓迎！

「どんな雰囲気なのか気になる」  
「まずはイベントだけ参加してみたい」  
そんな方はお気軽に支部事務局までお問合せください。

**☎048-932-6767**

仕事の幅を広げたい。自分の成長につながる場所を見つけたい。  
そんな“次の一歩”を探しているあなたへ——ぜひ、私たちと一緒に活動してみませんか？



# 令和7年度宅建業者法定研修会開催のご案内

【集合研修（東部エリア）】

1. 日時：令和7年10月27日（月）13：00（開会）～16：30（終了予定）  
受付：12：00～
2. 会場：サンシティホール 大ホール 越谷市南越谷1-2876-1

【WEB研修 受講について】

埼玉県宅建協会ホームページから、集合研修と同様の研修動画をご視聴いただけます。受講終了後、受講済報告書に必要事項を記入の上支部事務局までご連絡ください。



# 令和7年度 会員親睦旅行のご案内

今回の親睦旅行は1泊2日・大阪です。

1日目は大阪・関西万博会場跡地を視察後会員の皆様との親睦会を開催、2日目は道頓堀周辺をそれぞれお楽しみいただいた後、なんばグランド花月にて漫才・落語・新喜劇等をお楽しみいただく予定です。

埼玉東支部では毎年親睦旅行を開催しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています！



# 令和7年度各市不動産フェア(市民祭り)のご案内

## 草加地区

草加ふささら祭り  
11月1日(土)  
まつばら綾瀬川公園他

## 三郷地区

三郷産業フェスタ  
11月15・16日(土・日)  
三郷市勤労者体育館

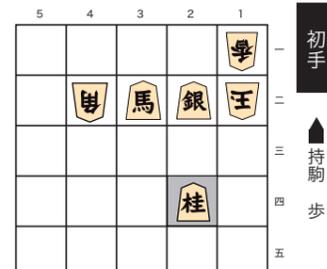
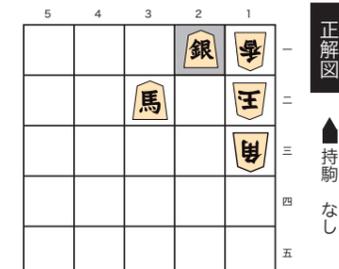
## 八潮地区

やしお市民まつり  
今年度中止

## 林編集長の挑戦状の答え 問題は最終ページ

初手■1三步は打歩詰。攻め駒を減らすことは出来ない。初手■2四柱で角を呼ぶのが正解。■1三步を角に取ってもらえます。玉の頭が埋まれば、■2一銀不成でびったり詰みます。

- ▲ 2四柱
- △ 同角
- ▲ 1三步
- △ 同角
- ▲ 2一銀不成



要確認！

宅建業免許更新、提出期間経過で免許満了日の90日前から30日前まで（協会支部経由での受付は廃止しました）

**免許失効**

宅地建物取引士証の  
**有効期限は大丈夫ですか？**

更新のための講習会は有効期限満了の6か月前から受講が可能です。

